

年会長講演

5月14日(木) 9:15~9:30 第1会場

座長：細谷 健一(富山大学)

薬剤学 令和維新

今井 輝子

(熊本大学 薬学部)

特別講演

5月15日(金) 15:15~16:15 第1会場

座長：今井 輝子(熊本大学)

人生100年時代の医療・介護
—高齢化の進展と疾患の性質変化を踏まえて—

江崎 禎英

(経済産業省 商務・サービスグループ (兼) 内閣官房健康・医療戦略室)

招待講演1

5月14日(木) 13:45~14:45 第1会場

座長：奥 直人(帝京大学)

糖鎖に基づくバイオナノテクノロジー

隅田 泰生^{1,2}

(¹鹿児島大学、²株式会社スティックスバイオテック)

招待講演2

5月14日(木) 14:55~15:55 第1会場

座長：高倉 喜信(京都大学)

中分子創薬のすすめ：
分子標的HLHペプチドを基盤とした新しい創薬モダリティの開発

藤井 郁雄

(大阪府立大学大学院 理学系研究科)

基調講演

5月15日(金) 9:15~9:55 第1会場

座長：山下 伸二(摂南大学)

Adoption of the Manufacturing Classification System concept in the
pharmaceutical industry

Michael Leane

(Bristol-Myers Squibb)

日本薬剤学会賞受賞講演

5月15日(金) 14:45~15:15 第1会場

座長：寺崎 哲也(東北大学)

血液網膜関門機能と薬物網膜移行に関する生物薬剤学的研究

細谷 健一

(富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬剤学研究室)

日本薬剤学会奨励賞受賞講演

5月16日(土) 9:15~9:35 第1会場

座長：武田 真莉子(神戸学院大学)

精神神経疾患治療に寄与するバイオ医薬の脳内送達法の開発

亀井 敬泰

(神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室)

日本薬剤学会奨励賞受賞講演

5月16日(土) 9:35~9:55 第1会場

座長：原島 秀吉(北海道大学)

薬剤学を基盤としたDDS・抗体医薬のがん治療に関する研究

畠山 浩人

(千葉大学大学院 薬学研究院 臨床薬理学研究室)

日本薬剤学会奨励賞受賞講演

5月16日(土) 9:55~10:15 第1会場

座長：今井 輝子(熊本大学)

シクロデキストリンを用いた超分子アクセサリーの設計と製剤素材への有効利用

東 大志^{1,2}

(¹熊本大学大学院 先端機構、²熊本大学大学院 生命科学部)

タケル・アヤ・ヒグチ記念栄誉講演受賞講演

5月16日(土) 11:25~11:55 第1会場

座長：尾関 哲也(名古屋市立大学)

Melanin Binding as Potential Approach for Targeted Ocular Drug Delivery

Arto Urtti^{1,2,3}

(¹School of Pharmacy, University of Eastern Finland, ²Faculty of Pharmacy, University of Helsinki, ³Institute of Chemistry, St. Petersburg State University)

日本薬剤学会永井記念国際女性科学者賞受賞講演

5月16日(土) 10:55～11:25 第1会場

座長：伊藤 清美(武蔵野大学)

医療に貢献する優れたバイオ医薬送達システム創製を目指して

武田 真莉子

(神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室)

日本薬剤学会旭化成創剤開発技術賞受賞講演

5月16日(土) 10:15～10:35 第1会場

座長：尾上 誠良(静岡県立大学)

高機能製剤開発の基盤となる経口吸収予測研究

上林 敦

(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

日本薬剤学会旭化成創剤研究奨励賞受賞講演

5月16日(土) 10:35～10:55 第1会場

座長：米持 悦生(星薬科大学)

分子複合体化による医薬品物性向上ならびに経皮吸収製剤への応用

古石 誉之

(星薬科大学 薬学部 薬品物理化学研究室)

特別企画シンポジウム 日本薬剤学会・日本医療薬学会合同シンポジウム
「医療現場におけるバイオ高分子医薬品への期待と課題、これに応える製剤技術」

後援：一般社団法人日本医療薬学会

5月15日(金) 16:30～18:30 第2会場

オーガナイザー：山下 富義(京都大学)
崔 吉道(金沢大学)

抗体医薬品のTDMを活用した個別化医療の実現

米澤 淳^{1,2}

(¹京都大学大学院 薬学研究科、²京都大学医学部附属病院 薬剤部)

バイオ医薬品開発上の課題 –残液量低減と使用性向上など–

須藤 浩孝

(アステラス製薬(株) 製薬技術本部 製剤研究所 プロセス設計研究室)

バイオ医薬品の治験実施における現状

○成田 さわな¹、上田 泰子¹、伊藤 祐子¹、川瀬 美紀¹、城野 博史^{1,3}、
松岡 雅雄^{2,3}、齋藤 秀之¹

(¹熊本大学病院 薬剤部、²熊本大学病院 血液内科、³熊本大学病院 臨床試験支援センター)

バイオ医薬品の物流と品質保証

野内 俊伸

(KMバイオリジクス株式会社)

年会企画シンポジウム 1「Manufacturing Classification System (MCS) を活用した効率的製剤開発」

5月15日(金) 10:00~12:00 第1会場

オーガナイザー：深水 啓朗 (明治薬科大学)
 本山 敬一 (熊本大学)

Manufacturing Classification System: Applications to pharmaceutical development

○Abina Crean¹、Michael Leane²

(¹Bristol-Myers Squibb Pharmaceutical Ltd, Moreton, UK、²SSPC Pharmaceutical Research Centre, School of Pharmacy, University College Cork, Ireland)

本邦における Manufacturing Classification System (MCS) 活用のポイント

伊吹 リン太

(立命館大学 総合科学技術研究機構)

MCSに対する製薬協の取り組み

鈴木 博文

(バイエル薬品株式会社 研究開発本部 薬事部)

Manufacturing Classification System (MCS) に対する今後の期待

岩尾 康範

(武田薬品工業株式会社)

年会企画シンポジウム 2「健康長寿社会の実現に貢献する先進医薬研究」

5月15日(金) 16:30~18:30 第1会場

オーガナイザー：小柳 悟 (九州大学)
 渡邊 博志 (熊本大学)

最長寿齧歯類ハダカデバネズミがもつ抗老化・発がん抑制機構の探求

三浦 恭子

(熊本大学大学院 先端機構/大学院 生命科学研究部)

「日本実験棟「きぼう」/国際宇宙ステーション (ISS)」マウスミッション

芝 大

(宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター)

健康長寿社会の実現に向けた癌の遺伝子治療戦略

堀口 道子

(山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 薬学科 薬剤学・製剤学分野 堀口研究室)

生体リズムを基盤にした時間創薬・育薬・健康科学

大戸 茂弘

(九州大学大学院 薬学研究院 薬剤学)

学術シンポジウム 1「先制医療に貢献するセンシング技術」

5月14日(木) 9:30~11:30 第1会場

オーガナイザー：柳井 薫雄(武田薬品工業(株))
堀内 保秀(東レ(株))

ウェアラブル機器と機械学習技術によるてんかん発作の予知

○山川 俊貴¹、藤原 幸一²、宮島 美穂³

(¹熊本大学大学院 先端科学研究部、²名古屋大学大学院 工学研究科、
³東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科)

着衣型ウェアラブルデバイス “hitoe[®]”

杉原 宏和

(東レ株式会社 ライフイノベーション事業戦略推進室)

生体センシング技術とITで広がる先制医療の可能性

荻野 淳

(アステラス製薬株式会社 Rx+事業創成部)

センシング技術とITを用いた医療機器の審査は何が特殊か？

加藤 健太郎

(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

学術シンポジウム 2「日本発DDS製剤維新」

5月14日(木) 9:30~11:30 第2会場

オーガナイザー：石田 竜弘(徳島大学)
菊池 寛((株)LTTバイオフーマ)

富士フィルムのリポソーム製剤における臨床開発への取り組み

高田 清人

(富士フィルム株式会社 医薬品事業部)

エーザイにおけるリポソーム製剤とLNP製剤の開発

兵頭 健治

(エーザイ株式会社)

Trastuzumab deruxtecan (T-DXd; DS-8201) の非臨床薬物動態

矢部 義之

(第一三共株式会社 薬物動態研究所)

アリピプラゾール持続性注射剤の製品化

松田 貴邦

(大塚製薬株式会社 製剤研究所)

学術シンポジウム 3「中分子・高分子医薬品創薬における「薬剤学」への期待」

5月14日(木) 16:00~18:00 第1会場

オーガナイザー：立川 正憲(徳島大学)
伊藤 慎悟(熊本大学)

IgG-Fc特異的親和性ペプチドを用いた抗体の部位特異的修飾法の開発と医薬品・診断薬への応用

伊東 祐二
(鹿児島大学大学院 理工学研究科)

原発性高カイクロミクロン血症を対象とした、核酸医薬の開発

○斯波 真理子¹、和田 郁人¹、山本 剛史²
(¹国立循環器病研究センター研究所、²長崎大学大学院)

環状ペプチド創薬で直面する薬物トランスポーターの重要性

木戸 康人
(塩野義製薬(株))

学術シンポジウム 4「点眼治療戦略」

5月14日(木) 16:00~18:00 第2会場

オーガナイザー：中田 雄一郎(大阪大谷大学)
高島 由季(東京薬科大学)

眼科に関する治療・薬剤開発の最近の動向

森島 健司
(参天製薬株式会社)

眼科製剤を考えるための薬物動態：眼内薬物動態に関わるトランスポーター

○細谷 健一、赤沼 伸乙、久保 義行
(富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬剤学研究室)

点眼薬開発を支える基礎研究：安全性及び有用性の改善とその評価ツール

長井 紀章
(近畿大学 薬学部)

医療現場における眼科製剤の課題

佐々木 均
(長崎大学病院 薬剤部)

学術シンポジウム 5「新技術による薬剤学維新2020」

5月16日(土) 13:15~15:15 第1会場

オーガナイザー：川上 茂(長崎大学)
東 大志(熊本大学)

マイクロ・ナノ工学による生体システム再構築への挑戦

亀井 謙一郎

(京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点)

標的分子を吸着してその機能を中和する合成高分子ナノ粒子「プラスチック抗体」開発

○小出 裕之¹、星野 友²、三浦 佳子²、シェア ケネス³、奥 直人¹、
浅井 知浩¹

(¹静岡県立大学 薬学部 医薬生命化学教室、²九州大学 工学研究院 化学部門、
³カリフォルニア大学アーバイン校 化学科)

エクソソームをハイジャックする抗体結合型核酸医薬

山吉 麻子^{1,2}

(¹長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科(薬学系)、²JST・さきがけ)

ダイレクトリプログラミングによる機能性肝細胞の作出

鈴木 淳史

(九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野)

超分子の動的特性を活用した製剤素材の開発と製剤維新への挑戦

○東 大志^{1,2}、古後 徹也²、歌津 康生²、小野寺 理沙子²、本山 敬一²
(¹熊本大学大学院 先端機構、²熊本大学大学院 生命科学研究所)

ラウンドテーブルセッション 1「基礎と臨床をつなぐ経口剤開発の最前線」

5月14日(木) 9:30~11:30 第3会場

オーガナイザー：尾上 誠良 (静岡県立大学)
上林 敦 (アステラス製薬 (株))

経口吸収のモデリング、シミュレーション、そして予測

真野 高司

(小野薬品工業株式会社 CMC・生産本部 CMC企画部 製品開発室)

臨床研究への製剤設計戦略

安藤 秀一^{1,2}

(¹第一三共(株) 製剤技術研究所、²現・第一三共バイオテック(株) 技術部)

創薬と臨床開発・製剤開発をリンクする生物薬剤学研究

上林 敦

(アステラス製薬株式会社 製剤研究所)

ラウンドテーブルセッション 2「経口剤の生物学的同等性に及ぼす食事の影響：BE試験ガイドラインの改正にあたって」

5月14日(木) 16:00~18:00 第3会場

オーガナイザー：松井 一樹 (沢井製薬 (株))
山下 伸二 (摂南大学)

経口固形製剤の生物学的同等性試験における絶食及び食後条件に関するガイドライン改正

栗林 亮佑

(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 ジェネリック医薬品等審査部)

経口固形製剤の生物学的同等性に及ぼす食事の影響：製剤間差の検出力に関する考察

○山下 伸二、高木 敏英

(摂南大学 薬学部 薬剤学研究室)

即放性製剤の食後BE試験で考慮すべき事項 (後発医薬品開発の観点から)

○松井 一樹、山根 美樹

(沢井製薬株式会社 生物研究部 薬物動態グループ)

ラウンドテーブルセッション 3「個別化医療の実現に向けた核酸・遺伝子創薬への挑戦」

5月15日(金) 9:15～11:15 第2会場

オーガナイザー：根岸 洋一(東京薬科大学)
秋田 英万(千葉大学)

環境応答性脂質様材料を基盤としたmRNA導入技術の開発

○秋田 英万、田中 浩揮
(千葉大学大学院 薬学研究院)

化学修飾核酸を用いた遺伝子発現制御アプローチ

堀 真一郎
(塩野義製薬株式会社 創薬化学研究所 中分子創薬部門)

希少疾患を対象とした個別化(プレジジョン)核酸・遺伝子医療の現状と課題

根岸 洋一
(東京薬科大学 薬学部 薬物送達学教室)

ラウンドテーブルセッション 4「エクソソームを利用したDDS開発の現状、課題と将来展望について考える」

5月15日(金) 16:30～18:30 第3会場

オーガナイザー：勝見 英正(京都薬科大学)
石原 比呂之(エーザイ(株))

DDS応用を目指したエクソソームの標識技術開発と体内動態解析

高倉 喜信
(京都大学大学院 薬学研究科)

核酸医薬品の開発動向とDDS

井上 貴雄
(国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部)

ラウンドテーブルセッション 5「バイオ医薬の経粘膜吸収促進技術の最前線」

5月16日(土) 9:15～11:15 第3会場

オーガナイザー：伴野 拓巳(摂南大学)
星 裕太郎(小野薬品工業(株))

経粘膜吸収促進技術が臨床にもたらすインパクト ～糖尿病・内分泌内科医の立場から～

福岡 秀規
(神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

吸収促進技術のイノベーション・レギュレーション・コミュニケーション

近藤 昌夫
(大阪大学大学院 薬学研究科 附属創薬センター 医薬品・医療機器規制科学)

膜透過ペプチド固定化ヒアルロン酸を用いたバイオ医薬の経粘膜吸収促進

○佐久間 信至、伴野 拓巳
(摂南大学 薬学部)

5月16日(土) 13:15~15:15 第3会場

オーガナイザー：内田 信也(静岡県立大学)
米澤 淳(京都大学)
座長：内田 信也(静岡県立大学)
前田 和哉(東京大学)

薬物相互作用マネジメントのための生理学的薬物速度論モデル解析の活用

○工藤 敏之、伊藤 清美
(武蔵野大学 薬学部 薬物動態学研究室)

**医薬品の適正使用のための薬物相互作用マネジメント
-新記載要領改定に伴う企業の取り組みを例に-**

齋藤 素子
(第一三共株式会社 安全管理推進部 PV情報管理グループ)

臨床現場における薬物相互作用エビデンスの活用と課題

木村 丈司
(神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

5月16日(土) 9:15～11:35 第2会場

オーガナイザー：丁野 純男(北海道科学大学)
檜垣 和孝(岡山大学)

病院薬剤師の立場から6年制薬剤師に望むこと

土岐 浩介^{1,2}

(¹筑波大学附属病院 薬剤部、²筑波大学 医学医療系 臨床薬剤学)

薬剤師教育の原点を見つめる在宅実習教育

～改定モデルコアカリキュラムによる薬局実習で、次世代の薬剤師を育てよう！～

篠原 久仁子

(フローラ薬局&恵比寿ファーマシー)

地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割

狭間 研至^{1,2}

(¹ファルメディコ株式会社、²一般社団法人日本在宅薬学会)

次世代薬剤師へ望むこと～患者の声を医療に活かす～

鈴木 信行

(患医ねっと)

製薬企業が期待する薬学研究者と薬学教育

小倉 岳治

(沢井製薬株式会社)

6+4新制度薬学教育を受けた者としての、教育への抱負

関 智宏

(城西大学 薬学部 薬剤学研究室)

5月16日(土) 13:15～15:45 第2会場

オーガナイザー：安東 幸弘 (第一三共(株))

改正薬機法が医薬品包装に及ぼす影響

土屋 文人

(一般社団法人 医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室)

環境負荷に対応した包装材料の開発状況と採用事例

小濱 博信

(株式会社カナエ)

医薬品製造におけるIT/IoT/AIの活用事例

志村 健二

(ビジネスエンジニアリング株式会社)

5月15日(金) 9:15～11:15 第3会場

実行委員長：福田 光良(日本大学)

細胞膜透過性ペプチド修飾高分子ミセルの経鼻投与による脊髄への薬物/中分子の非侵襲的デリバリーと筋萎縮性側索硬化症治療への応用

○藏野 匠¹、金沢 貴憲^{2,3}、鈴木 豊史^{1,3}

(¹日本大学大学院 薬学研究科、²静岡県立大学 薬学部、³日本大学 薬学部)

小児用剤形を指向した易服用性キセロゲル小球製剤の開発と嚥下性能の*in vitro*評価

○浅井 藍人¹、澤田 真侑²、近藤 啓太²、丹羽 敏幸²

(¹名城大学大学院 薬学研究科、²名城大学 薬学部)

DDS技術を組み込んだがん浸潤・転移を再現するための細胞培養法の創出～再生医療への薬学分野の1つの貢献～

○新居 輝樹^{1,2}、牧野 公子²、田畑 泰彦¹

(¹京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生組織構築研究部門 生体材料学分野、²東京理科大学 薬学研究科)

細胞表面修飾法を利用した抗がん剤搭載間葉系幹細胞の開発とがん治療への応用

○高山 幸也、草森 浩輔、辻村 真里、西川 元也

(東京理科大学大学院 薬学研究科 生物薬剤学研究室)

時間薬学的アプローチによる神経障害性疼痛に対する鎮痛化合物の探索と新規治療戦略の構築

○安河内 冨¹、楠瀬 直喜³、山内 智暁¹、小俣 裕司¹、鶴田 朗人¹、
松永 直哉^{1,2}、小柳 悟^{1,2}、大戸 茂弘¹

(¹九州大学大学院 薬学研究院 薬剤学分野、

²九州大学大学院 薬学研究院 グローカルヘルスケア分野、

³山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 生薬学教室)

ランチョンセミナー 1-2

共催：第一三共（株）

5月14日(木) 12:30~13:30 第2会場

座長：陣上 祥子（熊本赤十字病院 薬剤部）

患者に寄り添う薬

柴田 啓智
（済生会熊本病院 薬剤部）

心房細動をあらためて理解する

平井 信孝
（熊本地域医療センター 循環器内科）

ランチョンセミナー 1-3

共催：アジレント・テクノロジー（株）

5月14日(木) 12:30~13:30 第3会場

座長：中村 嘉告也（ジャパンマシナリー株式会社）

革新的な分光光度計による錠剤の評価方法のご紹介

～LDIRケミカルイメージングによる錠剤含有成分の分布、結晶多形等の評価と透過型ラマン分光光度計による定量評価

○親泊 安基¹、○中村 嘉告也²
（¹アジレント・テクノロジー株式会社、²ジャパンマシナリー株式会社）

ランチョンセミナー 1-4

共催：ブルカー・ジャパン（株）

5月14日(木) 12:30~13:30 第4会場

X線回折と3次元X線顕微鏡を用いた医薬品材料分析の最前線

～創薬から品質管理までの結晶多形判別および錠剤の非破壊内部構造解析～

○山田 尚、○葛原 清和
（ブルカー・ジャパン株式会社 X線事業部）

ランチョンセミナー 1-5

共催：サトーヘルスケア（株）・（株）マイクロ・テクニカ・クオリカプス（株）・大成化工（株）・藤森工業（株）

5月14日(木) 12:30~13:30 第5会場

座長：柴崎 誠（株式会社マイクロ・テクニカ）

医薬品のサプライチェーンをRFIDタグでつなぐ

○須賀 広道¹、○堀田 泰治²、○久保田 洋³、○葛生 仁⁴

（¹サトーヘルスケア株式会社 PSシステムマネジメントグループ、
²大成化工株式会社 開発技術本部・メディカル本部、³藤森工業株式会社 西日本包装営業課、
⁴株式会社マイクロ・テクニカ 代表取締役社長）

ランチョンセミナー 1-6

共催：（株）新日本科学

5月14日(木) 12:30~13:30 第6会場

経鼻製剤に関する最新の製品技術情報と当社の関連技術概要

○治田 俊志、○園田 陽
（株式会社新日本科学 TRカンパニー）

ランチョンセミナー 2-2

共催：大鵬薬品工業（株）

5月15日(金) 12:30~13:30 第2会場

座長：馬場 秀夫（熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学講座）

トリフルリジン・チピラシルによる治療効果の基礎・臨床での評価

北尾 洋之

（九州大学 薬学研究院 抗がん剤育薬共同研究部門）

ランチョンセミナー 2-3

共催：（株）堀場製作所

5月15日(金) 12:30~13:30 第3会場

座長：林 絹美（株式会社堀場製作所 グローバル本部 マーケティングコミュニケーション部）

製剤研究/プロセスへの光学技術の応用

森村 皓之

（株式会社堀場製作所 開発本部 先行開発センター）

ランチョンセミナー 2-4

共催：富士カプセル（株）

5月15日(金) 12:30~13:30 第4会場

経口放出制御製剤技術の最近の動向

近藤 啓

（静岡県立大学 薬学部薬学科）

ランチョンセミナー 2-5

共催：フロイント産業（株）

5月15日(金) 12:30~13:30 第5会場

座長：海老澤 豊（フロイント産業株式会社 技術開発研究所）

製薬業界の世界市場における封じ込め装置とスペックの動向

Frizzell Jamie

（Freund-Vector Corporation）

卓上型試験機LAB Microシリーズの紹介

中村 卓也

（フロイント産業株式会社 技術開発研究所）

ランチョンセミナー 2-6

共催：カプセル・ジャパン（株）

5月15日(金) 12:30~13:30 第6会場

原薬から製剤までの一貫した受託製造開発サービス及びハードカプセル技術
-ワンストップショップの利点-

○藤原 秀安、○早川 道也

（Lonza Pharma & Biotech）

ランチョンセミナー 3-2

共催：日光ケミカルズ(株)

5月16日(土) 12:00~13:00 第2会場

血管を標的とした免疫療法 ～がん、関節リウマチ、肥満～

宇都口 直樹
(昭和薬科大学)

ランチョンセミナー 3-3

共催：アシュランド・ジャパン(株)

5月16日(土) 12:00~13:00 第3会場

Overcoming Formulation and Process Challenges by Rational Selection of Functional Excipients

○Vivian Yunxia Bi¹、Yuji Shimizu²、Koji Yamamoto²、Thomas Durig¹
(¹Ashland Specialty Ingredients G.P.、²Ashland Japan Ltd.)

ランチョンセミナー 3-4

共催：(株)フクダ

5月16日(土) 12:00~13:00 第4会場

座長：村田 兼一(株式会社フクダ 医薬品等包装向けプロジェクト)

漏れ試験の指標を用いた医薬品包装の完全性評価とエアリークテスト装置

樋口 泰彦
(株式会社フクダ 医薬品等包装向けプロジェクト)

ランチョンセミナー 3-6

共催：日本アイリッヒ(株)

5月16日(土) 12:00~13:00 第6会場

座長：木下 正直(日本アイリッヒ株式会社 Sales Unit)

自動生産が可能な革新的高速攪拌混合造粒機“Eirich CleanLine”

○中村 俊之、○大城 啓維
(日本アイリッヒ株式会社 Sales Unit Process Group)